授業改善推進プラン

教科（　音　楽　）　学年（　１　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートから、多くの生徒が授業に積極的に取り組み、学ぶ楽しさや「わかった」「できた」と感じる機会があると回答している。約１５％の生徒が授業の始めに行っているねらいを認知しておらず、同じ割合で授業の最後に行う振り返りもあまりできていないと回答している。また、自分の考えを書いたり、発表したりする機会や、生徒の間で学び合う活動があまりできていないと感じている生徒が約２０％いた。

授業等の課題分析

〇授業のねらいや振り返りの充実。
〇すべての生徒が自分の考えを書いたり、発言したりする機会が与えられている実感できる授業。
〇すべての生徒が「学ぶ楽しさ」を感じられる授業の実現。

目指す授業

〇音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
〇音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。

授業改善のための具体的な方策

〇提示している本時のねらいをワークシートに生徒が記入する欄を毎時間作るとともに、ねらいに対する達成度を選択肢で答え、成果や課題、考えたことを記述することでねらいと振り返りの時間を充実させる。
〇安全に配慮してペアやグループでの活動を行うことで、全ての生徒が参加し、意見を取り上げられるように工夫する。
〇授業の流れとポイントをより明確にすることで「わかった」「できた」とより多くの生徒が感じられる授業を構築することで学ぶ楽しさにつながる授業を目指す。

授業改善推進プラン

教科（　音　楽　）　学年（　２　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

質問紙調査の結果、多くの生徒が授業に積極的に取り組み、「わかった」「できた」と感じる機会があり、分かりやすいと回答している。また、全ての生徒が自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしていると肯定的に捉えている。一方、生徒の間で学び合う活動を通して、他人の考えを取り入れ、自分の考えを広げたりすることがあまりできていないと回答した生徒が２０％いた。

授業等の課題分析

〇話し合い活動の充実。
〇音楽的知識や技能に対する得意な生徒との苦手意識がある生徒の格差。
〇すべての生徒が「学ぶ楽しさ」を感じられる授業の実現。

目指す授業

〇音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
〇音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。

授業改善のための具体的な方策

〇常時活動の充実を図り、音楽的な知識や経験を増やすことで、生徒一人一人の自信を深め、積極的な姿勢を育成する。
〇「自分の意見」→話し合い→「他の意見を聞いた後の自分の考え」の変化が感じられるようにワークシートの構成を工夫する。
〇授業の流れとポイントをより明確にすることで「わかった」「できた」とより多くの生徒が感じられる授業を構築することで学ぶ楽しさにつながる授業を目指す。

授業改善推進プラン

教科（　音　楽　）　学年（　3　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

質問紙調査の結果、全ての生徒が授業積極的に取り組み、授業のねらいを理解して活動できていることがわかった。どの質問に対しても概ね肯定的な回答だったのに対し、「生徒の間で学び合う活動を通して、他人の考えを取り入れ、自分の考えを広げたりすることができているか」という項目では、若干ポイントが低かった。

授業等の課題分析

〇どの生徒も積極的で、自分の考えや疑問を発言できている。
〇音楽に対して苦手意識を感じたり、知識の定着に不安を感じたりしている生徒がいる。
〇少人数学級ということもあり、他の意見を聞き、新たな発見ができる経験が少ない。

目指す授業

〇音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
〇音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。

授業改善のための具体的な方策

〇常時活動の充実を図り、音楽的な知識や経験を増やすことで、生徒一人一人の自信を深め、積極的な姿勢を育成する。
〇「自分の意見」→話し合い→「他の意見を聞いた後の自分の考え」の変化が感じられるようにワークシートの構成を工夫する。
〇授業の流れとポイントをより明確にすることで「わかった」「できた」とより多くの生徒が感じられる授業を構築することで学ぶ楽しさにつながる授業を目指す。